

自然に恵まれた環境で、先の心配がなくなりました。
主人と一緒に入居できたらもっとよかったな

伊豆高原(ゆうゆうの里) 渡邊純子様(87才)

平成28年4月 一人入居

「食事は全員で一緒に」を
大切にした家族

父は損保会社に勤める通勤族でした。きょうだいは男・男・女・女・男・男の6人で、私は4番目の次女です。きょうだいで喧嘩した記憶はほとんどありません。家族全員でどこかに出かけるということはあまりありませんでしたが、食事はいつも家族全員でしていました。父は釣りが好きで、よく釣りに連れて行ってくれましたね。船宿で船を借りてハゼを釣るときには、ゴカイというエサを針に刺しましたが、今ではよく触れたなあと思います。母には「勉強しな

さい」と言われたことはなく、自由に育てられました。それでも大学まで行かせてくれた両親には感謝しています。

主人は温厚で、何があっても慌てず、隠し事もない人でした

主人とは、私が大学生の時に知り合いました。祖母の知り合いに大学教授がいて、弟の家庭教師に誰か良い人いないかって相談したんです。その時に家庭教師として来たのが今の主人です。気を遣わない人ですね。温厚で、何があっても慌てず、隠し事もない人でした。一度も喧嘩をしたこともなかったですね。主人は造船技師。図面を引くのが大好きで、自宅を建てる時も、主人の図面と一緒に考えたことは楽しい思い出です。私も仕事をしていたので、休みには二人で、旅行に出かけたりゴルフをしました。私はゴルフを途中でやめちゃったけど、主人は病気になるまで続けていましたね。お互いやりたいことを尊重し合える仲でした。主人の親友の二

家族と一緒に、春と秋に2泊3日の旅行を楽しんだこと



パッチワークのベッドカバーを作成中です

とが良い思い出です。そういうこともあつて主人の人となりも一層わかるようになりました。

伊豆高原の自然環境に
一目惚れしました

老後の問題には元々関心もありませんでした。私たちには子供がいなかったため、ゆくゆくはと漠然と考えていました。その後、主人が病気になる、3年間入院退院を繰り返して亡くなりました。一人になって今度は自分かと思うと、急に怖くなり真剣に考えるようになりました。きょうだいは多くとも当てることはできません。どんなホームが自分に合っているのか勉強を始めました。主人が下田の出身で、お墓もあることから、緑が多い伊豆半島で暮らせたらと探している折に、伊豆高原へゆうゆうの里を知りました。最初の印象

は明るく、自然と一体になった住環境に一目惚れしました。一瞬にしてここに入居すると決めていました。ちょうどベランダにつながるお庭でガーデニングができるお部屋が空いていて、ガーデニングを続けられるとそこに決めました。本当にタイミングですね。

知り合いがなく心配しましたが、子供の頃のように自然と友人ができました

子供の頃、両親の庭いじりを見ていましたので、ガーデニングをずっと趣味にしてみました。入居しても充分楽しめています。近々のカインズホームへ行き、苗を買ってきて植えています。次は何を植えようかな、レイアウトはどうしようかな、配色はどうしようかなと考えている時が楽しいですね。他にも、アスレチックジムで体力作りをしながら、太極拳サークル、パッチワーク同好会など楽しみはたくさんあります。入居して7年になりますが、子供の頃のように自然と友達が増えました。知り合いがいないと心配したことが嘘のようです。何より、安心できる場所があるということはとてもありがたいです。先の心配がなくなりましたね。主人と二人で入居出来たらもっと楽しかったんだろうなと思っています。



ベランダからつながる花壇の花々と渡邊様